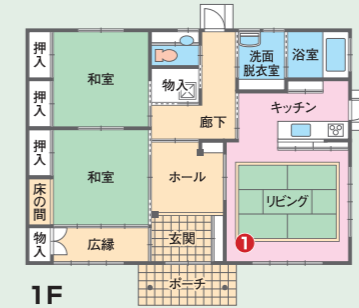




① 外壁は経年で渋みが増すリシンのかき落とし、屋根周りには霧よけ銅板葺きを用いた。重厚なファサードは堂々とし、かつ趣がある。上質な木材をふんだんに配した玄関は邸宅の装い。天井の高いLDKは量と掘りこたつでゆったりできる空間だ。



- 施工：田村建設
- 設計：田村一級建築士事務所
- 建築面積：104.75㎡ (31.68坪)
- 延床面積：102.27㎡ (30.93坪)
- 工法：木造軸組工法

## 手技の化粧柱や化粧垂木が映える無垢の木の家



代表取締役 一級建築士  
田村 知幸

「旅行から戻った施主から『自宅が旅館以上に良い建物だと分かった』と喜ばれたことがあります」と話すのは、田村建設の田村知幸社長だ。このクオリティーの秘密は、磨き抜かれた腕前を持つ自社大工の存在、在来木造軸組工法を基本に、設計から材料の手配、加工、現場管理、メンテナンスまでを一貫して自社で徹底することにある。現会長が創業して以来40年を越え、現在は長男の田村社長が設計・工事監理を行い、次男の武久専務と三男の直也常務が大工棟梁として、3兄弟が一致団結し、こだわりの良材仕入れと伝統技術に磨きをかけ、誠実な家づくりを受け継いでいる。

日本有数の産地から青森ヒバ、秋田杉、木曽や吉野のヒノキなどの無垢材を仕入れ、倉庫に大量ストックし、

自然乾燥させる。自社工場では、墨付け、手刻み、手ガンナなど職人たちが昔ながらの技法にこだわる。無垢材の扱いに習熟した職人たちが手間暇惜みず構造体を丁寧に刻み、入母屋やむくり屋根などを丹念に組み上げ、工芸品のような本格純和風住宅を構築する。

近年は平屋の需要も多く、数多くの実績を積み上げている。高い天井で開放感と通気性に富んだ平屋造りを特徴とし、得意とする意匠性の高い化粧垂木も美しい。「屋根までの視界に近い平屋は、和風建築の美しい外観が引き立つ」と田村社長は自信を持つ。

美しい化粧垂木が光彩を放つ写真の平屋住宅は、内装にヒノキの大黒柱や桁、屋久杉の腰壁、春日杉の床柱などを惜しみなく使い、稀少技法を取り入れた、

濃厚な木の芳香が漂う31坪の邸宅。住むほどに味わいが増していきそうだ。

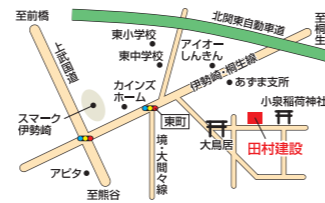
「最近では本格純和風住宅はもちろんですが、子育て世代など若い層にも木の家に対する関心が高まり、和モダン住宅の提案も行っています」と田村社長。大量生産とは対局に位置するスローな家づくりを貫く田村建設。力強い材を用いながら、シンプルですっきりとした設計も自由自在だ。

随時開催される構造見学会や完成見学会に参加し、同社の家づくりの技術を確かめてみてはどうだろうか。



### 当社の得意分野

- 純和風
- 自然素材
- リフォーム
- デザイン
- 職人技
- 化粧垂木



## 株式会社 田村建設

建設業許可群馬県知事(般-26)第12049号 一級建築士事務所 群馬県知事登録1520号  
伊勢崎市小泉町450-4 TEL.0270-63-3333 FAX.0270-63-2288  
URL <http://www.tamura-kensetsu.com/> E-mail [info@tamura-kensetsu.com](mailto:info@tamura-kensetsu.com)